

治水の神様 禹王(文命)

禹文命のはなし ①

治水の神様禹王。その禹王をまつた碑などが建つ全国各地の皆さんとの交流と親睦をはかるため、「第1回全国禹王(文命)文化まつり」が11月27日(土)、28日(日)に開成町で開催されます。

そこで、禹王にちなんだお話を今月から3回に分けて掲載します。

酒匂川などの流域で確認されています。

大口から酒匂川右岸沿いの下流に向けて、文命用水があります。足柄平野に農業用水を供給する幹線用水です。

1707年の富士山宝永噴火の後、度重なる洪水で破壊



文命東堤碑(上)と文命西堤碑(下)

された大口と岩流瀬の堤防は、19年後に田中丘隅の指揮で、やっと復旧されました。彼は2つの堤防の安全を願ってそれぞれに中国の治水の神「禹」をまつりました。

これが文命社であり、石のほこらが文命宮です。そして2つの堤防をそれぞれ「文命東堤」「文命西堤」と名づけました。

◆田中丘隅の教え

田中丘隅は、川崎宿の名主を務め、後に、八代將軍徳川



田中丘隅

吉宗に取り立てられ、酒匂川の治水工事にあたる役人です。

丘隅は、人々に次のように教えました。

「毎年お祭りをしなさい。その時みんな石を持ってきなさい。」(注・石はいざというとき竹で編んだかごに入れて蛇かごを作り、それを並べて堤防が崩れるのを防ぎました。)

「堤防に桃、すもも、梨、栗、柿を植えなさい。」

これらには
・人々が水防のことを忘れないように
・土手を踏み固めて強くするように
などの工夫が含まれていました。そのほか、水防組合をつくることも勧めました。



岩流瀬土手(文命西堤)

国勢調査が実施されます

企画政策課 ☎84-0312

今年、5年に一度の国勢調査が実施されます。皆さんのご家庭に9月中旬ごろから調査員が伺いますので、調査へのご協力をお願いします。

□国勢調査とは

国勢調査とは、日本の人口や世帯の実態を明らかにする最も基本的な統計調査として、5年ごとに実施されている調査です。

調査の結果は、選挙区の画定や議員定数の基準、福祉政策や防災対策など国や地方公共団体の行政施策での利用を始め、個人の生活設計や企業の事業計画などさまざまな場面において利用されることになります。

また、今回の調査は、少子高齢化や就業・雇用などの実態を地域ごとに明らかにし、国の重要課題に対する施策に欠くことのできない統計データを提供するためのものです。

□調査期日・調査対象

調査期日は、10月1日現在で、

調査対象は、この国に住んでいる外国人を含むすべての人です。

□調査事項

調査事項は、氏名、男女の別、国籍、就業状態などの世帯員に関する事項と、世帯の種類、住居の種類などの世帯に関する事項の合計20項目です。

□調査票提出方法

調査員が各世帯に調査票を配布・回収しますが、個人情報保護意識の高まりや不在世帯の増加などの理由により、次のような調査票の提出方式が導入されました。

なお、提出方法は、いずれかの方法を各世帯で選択します。

- ①封入提出方式
各世帯が調査票を封筒に入れて調査員に提出する方式
- ②郵送提出方式
不在のため調査員と面会できない世帯が郵送により調査票を提出する方式

アナライズ・かいせい

今年(2010年)は、5年に一度の国勢調査が実施されます。統計調査は、あまりなじみのないものと感じられるかもしれませんが、私たちの暮らしに密接にかかわっています。広報かいせいでは、さまざまな統計データから開成町のいろいろな姿をご紹介します。

企画政策課 ☎84-0312

第9回

まちの家族形態

開成町の世帯人員



■1世帯当たり人員

■開成町の1世帯当たり人員は県内第4位

平成21年7月1日現在の神奈川の1世帯当たりの人員は2・35人で、昭和36年1月1日現在の4・20人の0・56倍と大幅に減少しています。

県内市町村では中井町(3・00人)、山北町(2・98人)、清川村(2・93人)に次いで、開成町は2・84人で第4位、昭和36年4月1日現在の5・69人と比べると約半数です。

開成町の1世帯当たりの人員については、昭和30年から昭和55年の25年間で大幅に減少し、その後もゆるやかに減りますが減少は続いています。

一方で、平成12年から平成

17年の神奈川の総人口の推移を年齢別に区分すると、年少人口(15歳未満)はわずかに増加、生産年齢(15~64歳)は0・5%減少しているなか、開成町の年少人口増減率は18・1%、生産年齢人口増減率は7・3%と、いずれも県内市町村で最も高くなっています。

「ランキングかながわ(地域編)」統計指標でみる神奈川より

■県内市町村で常に3位以内の人口増加率

開成町の平成15年から平成20年の対前年人口増加率は、県内市町村で常に3位以内となつています。

これからも、住みよい魅力あるまちづくりとともに、開成町は成長していきます。